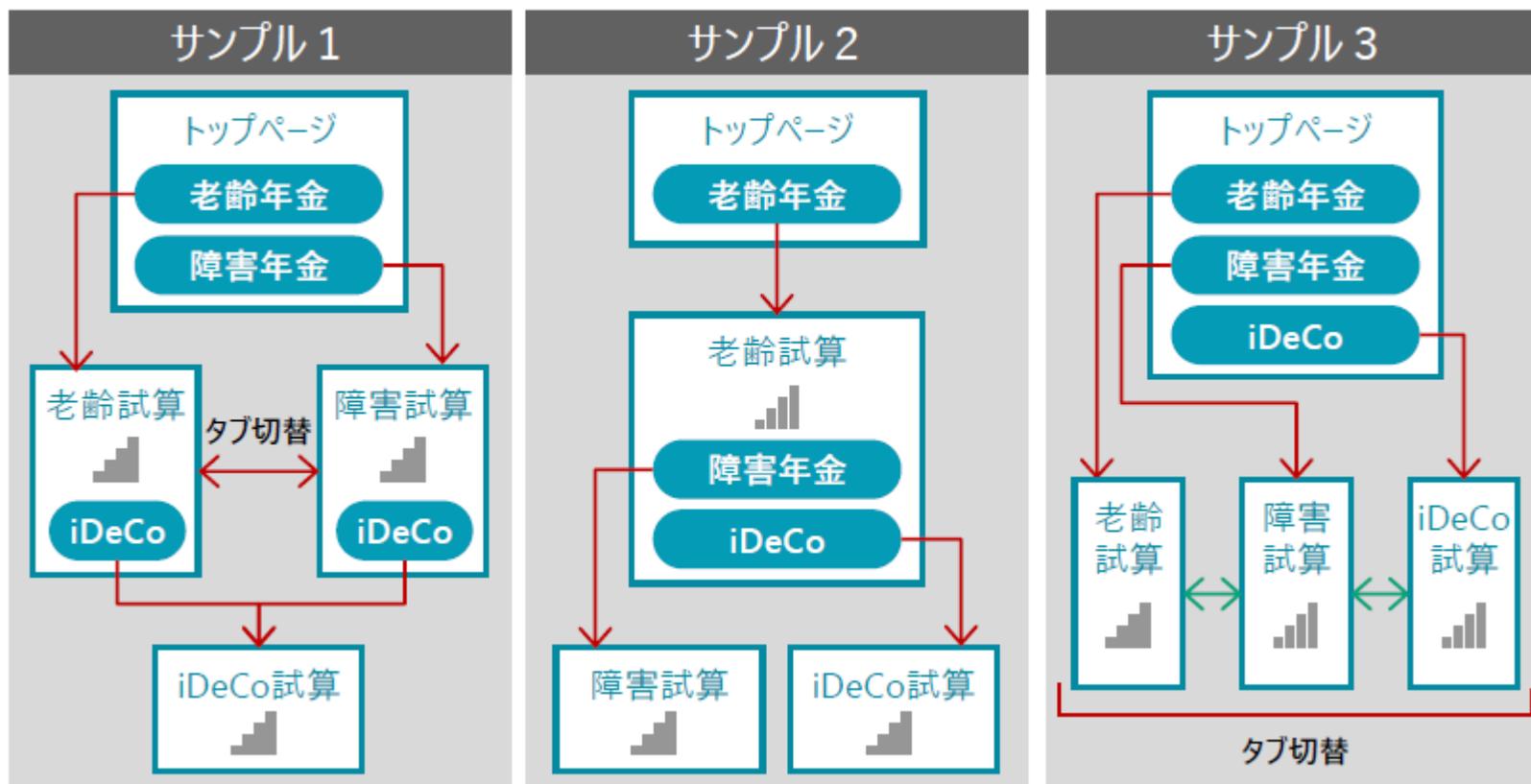


次期公的年金シミュレーター的设计・開発について 議論のポイント

① 障害年金・iDeCo試算機能の位置づけ

本開発で、従来の老齢年金に加えて障害年金及びiDeCoの試算機能を追加することに伴い、3つの位置づけを整理する必要がある。

ユーザー調査においては、3つを並列に位置づけ、トップページで選択して進むサンプル3の評価が高い。



② 障害年金の受給見込額の示し方

障害の軽快等によって額の改定や支給停止、失権があり得るため、生涯受給できると誤認されないような見せ方を検討する必要がある。

ユーザー調査及び有識者インタビューにおいては、サンプル③の評価が高い。

サンプル①

障害年金の各種イベントの
容易な把握



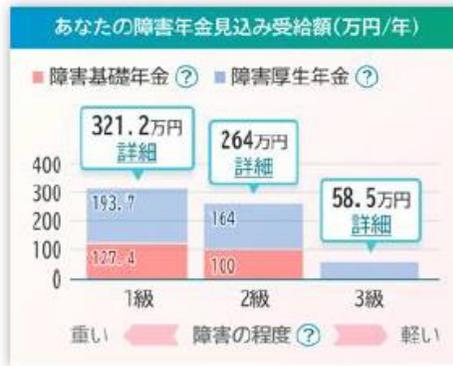
サンプル②

障害年金の受給期間の
流れを意識



サンプル③

障害等級ごとの金額差や
年金の種類を意識



サンプル④

年齢ごとの障害年金受給額が
一目で分かるシンプル一覧表示



③ iDeCoの運用利回りの設定方法

設定した利回りが保証されると誤認される可能性も考慮し、複数の選択肢から選択させるか、直接入力させるか検討する必要がある。

運用利回り

1%

(リスク:小 リターン:小)

3%

(リスク:中 リターン:中)

5%

(リスク:大 リターン:大)

○選択型

・「1・3・5%」、「リスク回避・安全運用・リスク許容」等、複数の選択肢から選択させる。

・選択した利回りが保証されると誤認される可能性がある。

○入力型

・入力の幅を設けない場合は、達成しえない高い利回りを入力する可能性がある。

④ iDeCoの受取段階のグラフの示し方

情報量と分かりやすさのバランスから、グラフの示し方を検討する必要がある。

- ・ 残高推移が見える取り崩しグラフ
- ・ 金額感の把握がしやすい棒グラフ の2パターンについて、ユーザー調査では評価が拮抗している。いずれも表示すると、情報量が多くなり操作性が落ちる上、特に古い機種では動作が顕著に重くなる可能性がある(※)。なお、一度表示すれば、受け取り開始年齢等のパラメータ変更に伴うグラフの変化に大きな操作性の影響はない。

受け取れる金額(受給金額)



切替

資産の減り方(取り崩し)



※現行のシミュレーターで表示確認・動作検証を実施している以下のブラウザ、OSでは不具合なく表示される見込み。

<ブラウザ>

Windows

- ・ Microsoft Edge 119.0.2151.58、
- ・ Mozilla Firefox 115.4.0、
- ・ Google Chrome 119.0.6045.160

Macintosh

Safari 17.1.1

<OS>

スマートフォン (iPhone)

iOS : 17.1.1

スマートフォン (Android)

Android バージョン : 12

パソコン

Windows 10 Pro (22H2)

⑤ 直感的に操作でき、かつ制度の理解にも繋がる表示方法

公的年金シミュレーターの基本コンセプトである「簡単でスムーズな操作性」を失わず、必要な場合に確認できる詳細な説明を追加すること等により、さらに制度理解に繋げる。

- ・ 入力項目等の表現及びヘルプを具体的にし、制度理解を促進する。（資料3-1 p 13・17）
- ・ 基礎年金と厚生年金を分けて受給見込み額を表示することで、制度理解及び結果の分かりやすさを向上させる。（p14）
- ・ （老齢年金）画面遷移を3分割し、1画面あたりの情報量を抑制する。（p12）
- ・ （障害年金）受給要件を詳細に確認できる別枠のウィンドウを用意する。（p17）